

〈午前〉 11:00～

1. 開会宣言 — 事務局長 磯嶋先生
2. 会長挨拶 — 野々上先生
3. 会員異動 — 磯嶋先生
 - ・ 氏名変更 青森市 学習塾のせっこ会 松尾→小川（こがわ）
 - ・ 新会員 八戸市青葉一丁目「あおば伸学塾」 塾長 村戸 公博先生
黒石市「PTE 学習塾」 代表 増川 博基（ますかわひろき）先生
4. 議長・議事録選任
議長 — 渡部先生 議事録書記 — 丸本先生
5. 議長より
 - ・ 定足数の確認（出席 22 名、委任状 7 名）合計 29 名 — 過半数以上の出席により総会成立
 - ・ 総会全体の流れ及び予定終了時刻の確認
6. 前年度事業報告及び決算報告
 - ①編集部 — 部長 瀬川先生
 - ・ 例年通り合格情報作成を行う
 - ②広報部 — 部長 佐々木先生
 - ・ 研修会が参加者の不足により開催できなかった。
 - ・ ホームページ運営は仙台の業者に委託したため、スムーズに運営できた。
 - ③研究部 — 部長 下佐先生
 - ・ 例年通り入試分析、統一塾テストを行うことが出来た。
 - ・ 直前テストは 3 回のうち第 2 回目を業者テスト（進研）で行った。
 - ・ 小学生の事業は今後の課題とする。
 - ・ 英語研究会も無事開催できた。
 - ④事務局 — 事務局長 磯嶋先生
 - ・ 全県テストの実施 2011 年度を 100 とする生徒数の減少割合に対して全県テストの受験者割合は増加している。
 - ・ 全県テストの外部受験者のアンケート回収率はほぼ一定。
 - ・ 入試平均点予想は田端先生のご尽力により今年度もほぼ的中。
 - ・ 決算報告 — 慶弔費が多かった。
全県テスト値上げにより収入減
公開会場費にかかる経費が赤字
 - ⑤質疑応答
 - ・ 公開会場運営に関して
受験者の約 1 / 3 はトップ高受験者
現在中学校の模擬テストは学校単位での判定なので、全体的なデータが入手できる全県テストは必要

学校単位で受験を奨励しているところもある（小規模校）
公開会場運営は大手塾の流れを止める手段になる
公共性・公益性に価値がある

⑥監査報告 — 監査 能登先生 — 全会一致で承認される。

7. 新年度事業計画・予算案 — 役員改選だが前任者が責任を持って作成する。

①会長より

- ・ 編集部、研究部、広報部の三本柱になるべく全会員が参加し、新しい風を入れて欲しい。

②編集部 — 瀬川先生

- ・ 例年通りに合格情報を作成する
- ・ ミニ研究会で発表できれば良い

③研究部 — 下佐先生

- ・ 例年通りに入試分析を行う予定。
- ・ 英語研究会に期待。
- ・ 塾訪問も実施したい。
- ・ 直前テストに関しては、昨年度の総括を行い今年度の予定を決定する。

④広報部 — 佐々木先生

- ・ 例年通りに実施したいが、研修会のあり方を検討してほしい。
- ・ ホームページ運営は例年通りに実施する。

⑤事務局 — 磯嶋先生

- ・ 今年度のスケジュール確認。
- ・ 今年度の予算案提出 — 全会一致で承認。

〈午後〉

8. 役員改選

①選挙管理委員長 — 小西先生

- ・ 会則 11 条に基づき理事 5 名から 12 名 幹事 2 名以内を選出する。
- ・ 自薦 — なし
- ・ 推薦 — 安藤先生より前期と同様の推薦があり、承認。
- ・ 承認後別室で第一回理事会を開催し、前期と同様に決定。

9. 新人事発表 — 事務局長 磯嶋先生より

①会長 野々上先生

副会長 渡部先生、米倉先生、丸本先生

事務局長 磯嶋先生

事務局次長 安藤先生

理事 田端先生、下佐先生、瀬川先生、佐々木先生、吉田先生

幹事 福田先生、能登先生

10. その他

①直前テスト（進研）について

- ・ 基本は昨年度同様に第 2 回を業者テストにする予定
- ・ 将来を見据えていろいろな業者を検討する必要がある

②研修旅行について

- ・ いつ頃がよいか意見を求める — 3 月末、中体連の時期（6 月）等

- ・一泊旅行をやめて日帰りにするのはどうか。
 - ・広報部の会議でさらに話し合う。
- ③今年度の全県テストについて
- ・発送までの時間がかかりすぎる — 全県テスト会議（地区会）等で協議
- ④塾統一テスト
- ・第2回の発送に時間がかかる（〆切の関係）
 - ・理科・社会の進度が合わない — 事務局預かりとする。
- ⑤少子化に向けて塾の将来性
- ・広報の必要がある
 - ・ホームページを活用する。
 - ・新聞・テレビ等、メディアにもっと注目させる必要あり。
 - ・SNS等の活用も考慮してはどうか。

11. 閉会 14:00